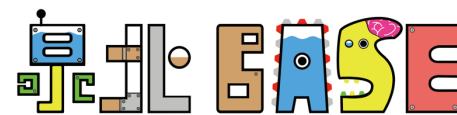


申請事業名

不登校の子どもと地域の子どもが ゆるくつながる居場所事業



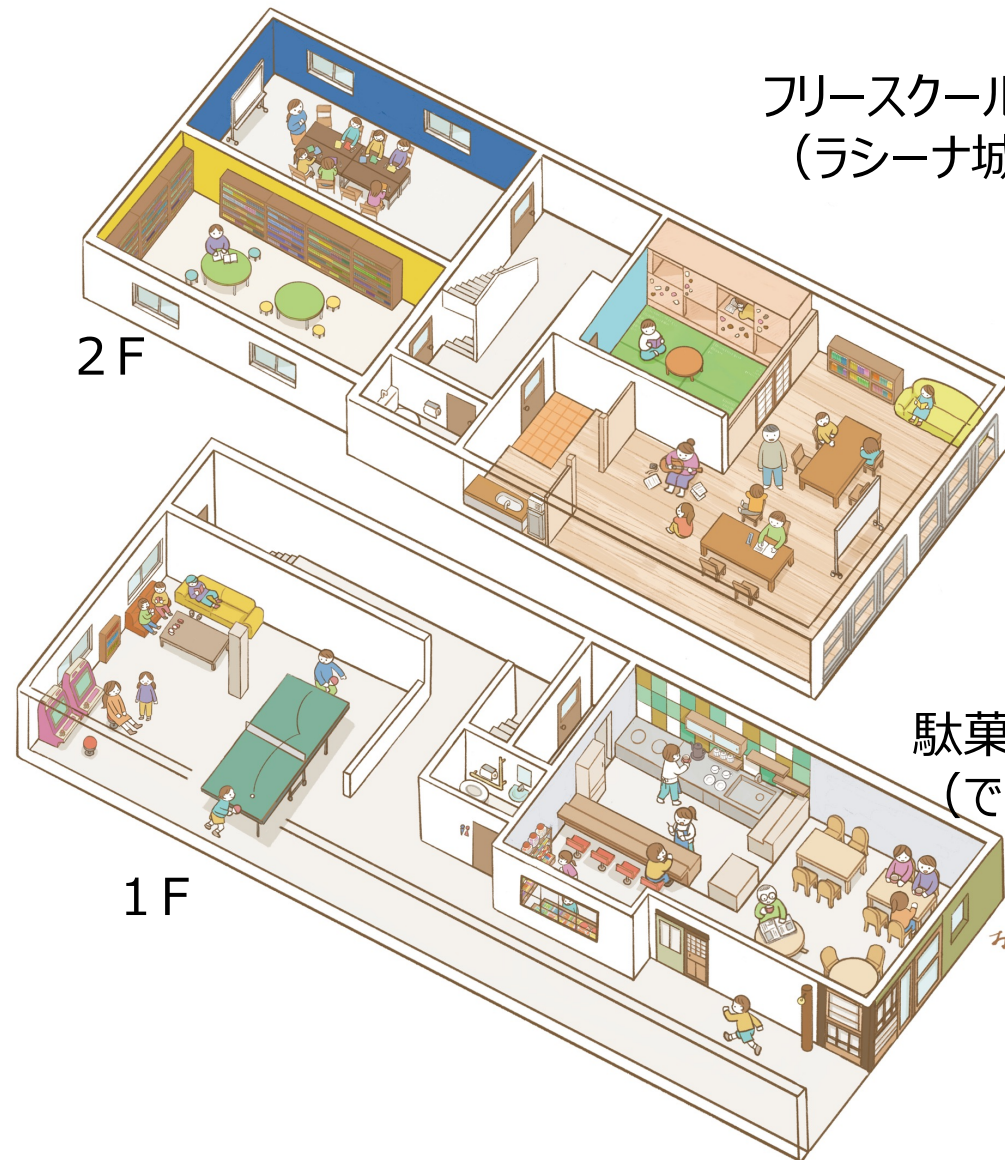
特定非営利活動法人志塾フリースクールラシーナ

事業概要①

活動の概要

レンタルスペースの運営

フリースクールの運営
(ラシーナ城山台教室)



フリースペースの運営

駄菓子屋カフェの運営
(でんでんカフェ)

事業概要②

なぜカフェ&駄菓子屋×フリースクールなのか？

✓地域の子どもと不登校の子どもが同じ場所を共有することで

緩やかなつながりを作りたい



不登校への理解に繋げたい

✓地域に潜む学校に行きづらい子ども（≠不登校）がさまざまなハードルを乗り越えてフリースクールにたどり着く前に**“申込”が不要で気軽にアクセスできる**緩衝地帯のような居場所を作りたい



フリースクールより前の段階の居場所

事業設計図

中長期アウトカム

不登校か否かに関わらず地域の子どもたちが自分の居場所を見つけ
自分らしく過ごすことができる地域や社会になる。

不登校への理解が進み、不登校状態にある子どもが自己肯定感がない状態を脱するための
支援環境が地域の人々を巻き込んで整備されている。

短期アウトカム

地域の子どもたちに立ち
寄れる場所ができ、子ど
もに関する地域の困り事
が地域に共有できている

フリースクールの利
用を通じて気力が
回復した

孤立しているひとが気軽に立ち
寄り、相談する場所が出来た

地域のコミュニティ
活動の活性化に
貢献している

さりげなく子どもた
ちを支援する方法
が確立されている

アウトプット

泉北BASEを適切に運営
する

フリースクールの運営
体制の整備

駄菓子屋カフェの運営
体制の整備

フリースペースの運営
体制の整備

レンタルスペースの運
営体制の整備

主催イベントの運営
体制の整備

事業の実績①

- (1) 事業で介入を実施した受益者とその数
- (2) 主な活動



アウトプット①
フリースクール

1) 登録累計**21名**、うち休会3名、退会・卒業2名

2) 学習支援、通信制高校生のサポート、職業体験、お出かけイベント、地域のお祭りへ参加など施設内外での体験活動



アウトプット②
駄菓子屋・カフェ

1) 累計来場者数
2,5万人

2) 調理実習、音楽ライブ、夏祭り、ハロウィンイベント、子育て・教育相談会、フリースクール説明会、母の日イベント、子どもむけワークショップ



アウトプット③
フリー（レンタル）スペース

1) 累計利用者数
3,5万人

2) 地域の子どもの放課後の遊び場としての利用や、子ども向けワークショップほか、子ども食堂の実施、堺市南区子育て支援課による子どもの居場所事業（りんくる）の実施など

事業の実績②

主なアウトカムとその成功要因

泉北BASE

アウトカム

地域の子どもたちに立ち寄れる場所ができ、子どもに関する地域の困り事が地域に共有できている

成功要因

毎月の実行会議の中で、見守りや支援が必要な地域の子どものケースが共有でき、行政機関や民生委員など地域の大人が協力して見守り・支援を行う体制ができた。

フリースクール

フリースクールの利用を通じて気力が回復した

居場所にフリースクールが併設されたことで、フリースクールの生徒が自然と社会とつながることができた。

また、地域の子どもとフリースクールの生徒が自然と交流でき、フリースクールの認知度も高まった。

駄菓子屋・カフェ

さりげなく子どもたちを支援する方法が確立されている

仕組みとしてカフェのメニューに寄付が含まれていて、それをお客さんへ説明することで、地域の大人が子どもの多様な学びを応援することが理解されるようになった。

事業の実績③

今後の課題 達成が困難であったアウトカムについて

駄菓子屋・カフェ

レンタルスペース

アウトカム

孤立しているひとが気軽に立ちより、相談する場所が出来た

地域のコミュニティ活動の活性化に貢献している

要因

子どもの利用する場所というイメージが強く、地域の大人が利用するコミュニティスペースとしての認知（発信）がうまく行かなかった。
その結果、レンタルスペースとしての利用が計画どおりにいかなかった。



駄菓子屋でんでん堂





1F フリースペース



2F まちライブラリー【太陽の部屋】

フリースペース







助成を受けて開所することができた泉北BASEですが、
ここ場所の必要性がよりみえてきました。

これからも泉北BASEが続けていけるよう、頑張っていきます！

ご清聴、ありがとうございました。



↓不要

事業によって解決を目指す社会課題

不登校の増加に伴う課題

<問題提起>

- 少子化が進行する中、不登校の児童生徒は毎年増加している。
- 不登校児童生徒への公的支援は十分とはいえない。
- 受け皿となる公的機関や民間団体が不足している。

<社会的な影響>

- 子どもたちの居場所の減少（駄菓子屋やアミューズメント施設の減少）。
- 学校以外での安心できる環境が不足。

<考えられる解決策>

- 公的支援の拡充と民間団体との連携強化。
- 地域コミュニティによる子どもの居場所づくり。
- 新たな形の子ども支援施設の設立。

- (1) 事業で介入を実施した受益者とその数
- (2) 主な活動
- (3) アウトカムについての評価

アウトプット① 泉北BASE

1)
のべ来場者数：
イベント主催回数：

2)
フリースクール、でんでんカフェ、
レンタルスペース・フリースクールの運用。

宿題カフェ（学習支援付きの
こども食堂）
よなよなハイスクール（高校生
のための夜の居場所事業）
泉北ソーシャルバー
他

3)
毎月の実行会議の中で、見
守りや支援が必要な地域の
子どものケースが共有できて
おり、行政機関や民生委員
など地域の大人が協力して
見守り・支援を行う体制がで
きた。



LaciCo(ラシコ)とは泉北BASEでこどもだけが使えるローカルな通貨です。

- 1.カフェで一品注文するとLaciCoがもらえます。
- 2.LaciCoはこどもたちにプレゼントしたり、お店に寄付することができます。
- 3.こどもたちはLaciCoを使って駄菓子を買ったり、様々な体験活動に参加することができます。